

第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会静岡県予選

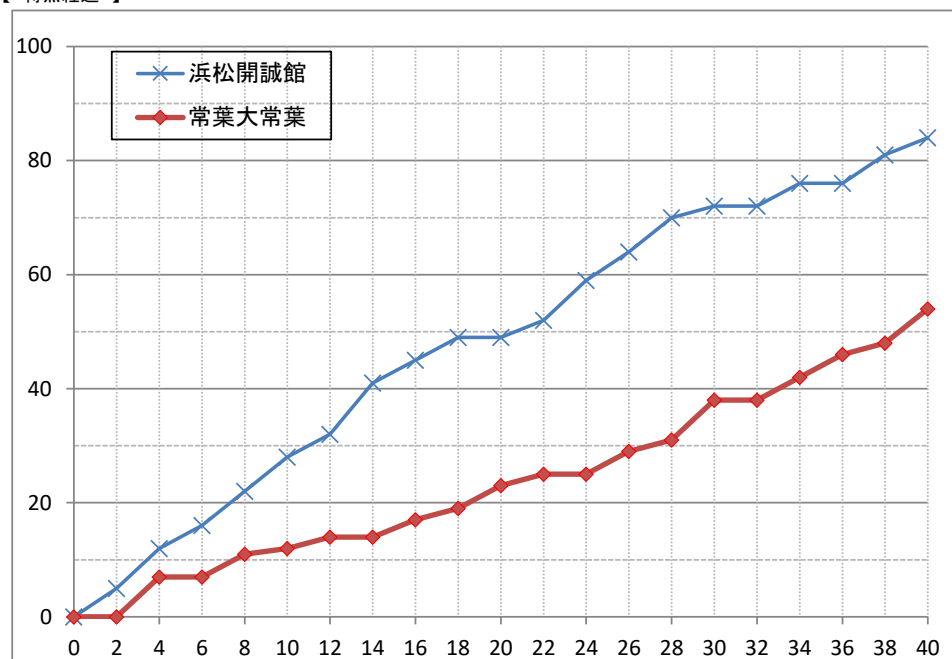
準決勝	
試合日	2017年11月11日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	10:00

TEAM A		TEAM B
浜松開誠館 (西部)	84	54 常葉大常葉 (中部)
	28 - 12	
	21 - 11	
	23 - 15	
	12 - 16	
	OT	

TEAM A 浜松開誠館 (西部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	石田悠月	37	4	10	5	1
5	*	樋口菜帆	8	0	4	0	3
6	*	石牧葵	11	0	1	9	2
7	*	鈴木侑	11	1	3	2	4
8		松本恵莉	0	0	0	0	0
9		小幡桃花	11	1	4	0	2
10	*	松岡木乃美	5	0	2	1	2
11		伊藤美沙希	0	0	0	0	0
12		奈須梓咲	1	0	0	1	1
13	DNP	高井なおみ	0	0	0	0	0
14	DNP	清水夢佳	0	0	0	0	0
15	DNP	大石沙紀	0	0	0	0	0
16		伊藤綾優花	0	0	0	0	0
17	DNP	高橋杏	0	0	0	0	0
18	DNP	柴田麻子	0	0	0	0	0
19	DNP	太田明伽	0	0	0	0	0
20	DNP	西田悠乃	0	0	0	0	0
21		岩上夏巳	0	0	0	0	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			84	6	24	18	16

TEAM B 常葉大常葉 (中部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	野本陽香	7	1	2	0	2
5		渡邊侑季	2	0	1	0	0
6		井上麗	12	0	4	4	1
7		山下あい	2	0	1	0	0
8		梶村明也乃	2	0	1	0	1
9		飯田蒼未	0	0	0	0	0
10	*	山地菜月	2	0	1	0	5
11		北村音緒	4	0	1	2	0
12	DNP	見崎菜摘	0	0	0	0	0
13	DNP	樋口茜	0	0	0	0	0
14	DNP	杉山もえ	0	0	0	0	0
15	DNP	佐藤優凜	0	0	0	0	0
16	*	保坂悠月	0	0	0	0	3
17	*	山口郁実	14	1	5	1	3
18	*	林美弥子	7	1	1	2	3
19		池田桃子	2	0	0	2	0
20	DNP	曾根萌生	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			54	3	17	11	18

【得点経過】



【戦評】

1PD 両チームともマンツーマンディフェンスでゲーム開始。浜松開誠館は④石田のフリースローで先制すると、ショットインプレス2-2-1で相手のターンオーバーを誘う。一方、常葉大常葉は相手のプレッシャーに苦しいシュートとなる場面が増えるもディフェンスで粘りを見せる。しかしチームファウルからフリースローを連続で与え、失点が増え始めると、浜松開誠館のゾーンプレスによるミスが増え、点差が開き始める。浜松開誠館は④石田のピックプレーを中心に得点を重ね、28-12とリードし第1ピリオド終了。

2PD 浜松開誠館はゾーンプレスを1-2-2に変えると常葉大常葉のターンオーバーがさらに増える。ディフェンスから勢いをつけた浜松開誠館はセットプレーも上手く使い得点していく。常葉大常葉は開始6分で2点と得点が伸びず、苦しい展開となる。終盤④野本のスリーポイントや⑦山口の連続ジャンプシュートで得点するも点差はさらに開き49-23、浜松開誠館リードで前半終了。

3PD 浜松開誠館はディフェンスをハーフコートマンツーマンに変える。常葉大常葉はプレッシャーを強め、ラリーを速めることで点差を縮めにかかるも、浜松開誠館の得点を止めることができず点差は開いていく。浜松開誠館は④石田の1対1を中心に安定した得点力を発揮し、72-38で第3ピリオド終了。

4PD 常葉大常葉はディフェンスプレッシャーをさらに強め、ここまで着実に得点を重ねてきた浜松開誠館に簡単に得点を許さない。ブレイクも決まり、徐々に点差を縮め、意地を見せる常葉大常葉であったが、前半の点差は大きく、追いつくにはいたらず84-54で浜松開誠館が決勝に駒を進めた。

【戦評(文責)】 鈴木洋平(島田高校) 記入者 中村愛・松尾桃花(島田商業高校)